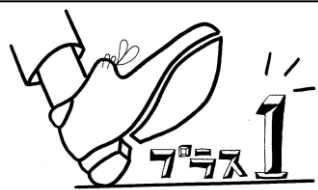


活動



2022（令和4）年4月27日  
福山市立日吉台小学校  
6年学年通信 No.3

# 参観日、ありがとうございました

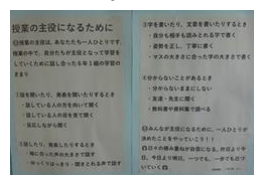
土曜日の参観日は、ご多用のところお越しいただきありがとうございました。

国語科「漢字の形と音・意味」、算数科「分数のかけ算」の授業を参観して頂きました。子どもたちの学習に取り組む様子はいかがでしたでしょうか。一人一人が、学習のめあてに対して自分の考えをもち、友達に伝えようと頑張っている姿を見て頂くことができたと思います。引き続き、みんなで学び合い深め合うことができる学級集団をつくっていききたいと思います。

保護者の方から感想をいただきました。ありがとうございました。

- ・授業参観、ありがとうございました。6年生になり、内容も難しくなりますが、班で楽しそうに考えたり、前向きに取り組んだりしている姿を見ることができて嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・今日の授業参観は、活気があり、子どもも今までで一番発表していたとしても良かったです。保護者の私たちも参加させてもらい、とても良かったです。

また今、「自分が主役になる授業」「自分が得をする授業」になるための学級づくりに力を入れています。「話を聞くとき」「話すとき」「字や文章を書くとき」「わからないとき」どうすればよいかをみんなで話し合い、学級のルールにしています。次回6月の参観日には、この4つの点についてもご覧いただきたいと思ひます。楽しみにしててください。



## 5月の納金のお知らせ

5月の納金は10,000円です。引き落としは、5月9日（月）です。

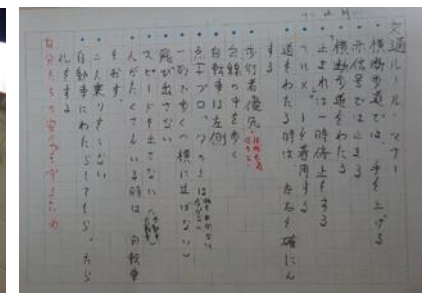
・給食費	255円×16回	4,080円
・学年費		2,867円
・積立		2,000円
・スタディサプリ		528円
・タブレット端末保守費		381円
・雑費		100円
・手数料		44円
計		10,000円



学校教育目標「自ら気付き、考え、判断して行動する子どもの育成」

# 交通安全指導を実施しました

4月18日に「交通安全に関する様々な危険の要因や事故等の防止について考える」ことを目的に交通安全指導をしました。交通ルールやマナーについて知っていることを話し合った後にDVD「クイズ!危険をさがせ 自転車に乗るとき」を視聴しました。自転車に乗るときの大切な5つのポイントとして、「自転車は左側を通る」「自転車が右側を通るのは、危険である」「一時停止を守る」「止まっている車は要注意する」「交差点は青でも車に注意する」と学び、標識の意味や自分勝手な考えや行動が危険につながるということについても再確認しました。交通ルールやマナーを守ったり、ヘルメットを着用したりすることで、自分や周りの人の命や安全を守ることができます。ご家庭でも、自転車の乗り方や道路の歩き方について再確認していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



### 交通のマナーやルール

小野 里彩

今日、交通ルールやマナーについて確認をしました。自転車が多い事故の種類や事故が起こる理由についての動画を見ました。  
自転車がよく起こる事故は、飛び出しや一時不停止、安全確認ができていない時、スピードを出している時でした。他にも、自転車が左側通行をする意味や自転車が通行して良い道は車道なのか、歩道なのかについても学ぶことができました。  
その中でも印象に残っているのは、左側通行をしていないとカーブの時にお互いが判断できず接触して事故になることや十三歳未満と七十代以上の人は歩道を通行でき、それ以外の人は車道を通行しなくてはならないことです。  
以前から知っていることもありましたが、改めて確認することができたので、今日学んだことを活かして、自転車で乗りたいと思ひます。

### 交通ルール・マナー

田島 明依

今日は、交通ルールやマナーについて授業がありました。授業の中で、大切なことが五つあると学びました。その中で、自分の生活と結びつけて気をつけた方がいいと思ひたことが二つあります。  
一つ目は、自転車に乗るときは、車道の左側を走ることです。私の家の周りは、坂道が多くスピードが出やすくなっています。また、車同士の事故も多いです。危ないと思うからこそ、自転車に乗るときは、左側を通るようにします。  
二つ目は、一時停止です。登校班で登校するとき、道路や歩道に白線で「止まれ」と書いてあるのを目にします。書いてある場所は、特に気をつけた方がいい場所だと学習しました。だから、今まで以上に安全を確認して通りたいです。  
この二つのことを特に意識して、自分で自分の安全を守っていききたいです。

他にも、交通ルールやマナーを守るために、校舎内でも「階段や廊下で右側通行すること」や「出入口から飛び出さない」など、普段の生活から気をつけていきたいという考えも出ました。